

上級で学ぶ日本語
三訂版

別テーマ

ワークブック

〔監修〕

松田浩志
亀田美保

〔著〕

惟任将彦
咲花美紀

佐藤真紀
立和名房子

安本博司
山田勇人

KENKYUSHA

目 次

『ワークブック』を使っていたかく先生方へ v
CDトラック番号一覧 ix

第 1 課	しる	1
第 2 課	いたわる	4
第 3 課	ならう	7
第 4 課	よみとる	12
第 5 課	さばく	15
第 6 課	うやまう	20
第 7 課	ふせぐ	23
第 8 課	もてなす	28
第 9 課	よびかける	31
第 10 課	えらぶ	36
第 11 課	いかす	39
第 12 課	つなぐ	44
第 13 課	たのしむ	47
第 14 課	きたえる	52
第 15 課	いきる	56

『ワークブック』を使っていただく先生方へ

I. 改訂の概要

『テーマ別 上級で学ぶ日本語 ワークブック』（以下『ワークブック』）は、大幅に改訂された『テーマ別 上級で学ぶ日本語 三訂版』（以下、『上級』）の出版に合わせて、従来の『ワークブック』を改訂したもので、『上級』との補完関係を明確にした教材です。大きな改革点は、以下の諸点です。

1. 従来の〈聞いてみよう〉に相当する聞き取り練習は、対話形式の練習を奇数課に、それ以外の形式の練習を偶数課に設け、〈聞きましょう〉とした。
2. 〈読んでみよう〉は〈読んでみましょう〉とし、第3課から奇数課ごとに設けた。
3. 〈表現を磨こう〉〈言葉を増やそう〉は、〈練習しましょう〉とひとつにまとめた。
4. 〈練習しましょう〉に、新たに漢字練習を加えた。
5. 『上級』で扱ったテーマとの関連をより明確な内容の練習にした。

全体の構成と狙いは以下の通りです。

II. 各セクションの構成とねらい



聞きましょう

練習のねらい:

奇数課では対話、偶数課では独話を聞いて情報を聞き取る、いわゆる聴解力を伸ばすのと同時に、対話ではある話題について話し手それぞれの意見の相違点を聞き取ります。また、口語特有の表現や縮約形を理解することも目的としています。独話ではややフォーマルな説明や公の場での話、講演などを聞いて情報を聞き取り、理解します。また、そのために必要な学習スキルとして情報を聞き取り、ノートを取ること（ノートテーキング）、ノートを見ながら、文を再構築し、内容をまとめること（ディクトグロス）を練習に取り入れ、これらの学習スキルを高めることを目指します。

練習の構成:

奇数課の対話、偶数課の独話ともに1000字前後の長さになっています。対話を聞いた後は設問Ⅰの選択問題で内容を確認し、設問Ⅱで話し手の立場や考え方の違いをまとめます。そして、設問Ⅲでは対話中の口語的な表現を取り上げ、できるだけ自然なやり取りができるよう、即時応答の練習があります。

独話では内容を推測したり、ノートを取る準備をしたりするために、設問Ⅰで要点を

尋ねています。これは各段落に1問設けてあります。次に、設問Ⅱでノートの内容をもとに要点を文にしてまとめる練習があります。設問Ⅰの質問に対応させ、段落ごとに文完成の形式で要点が示されています。

練習の進め方:

・奇数課(対話)の進め方

1. 音声を流す前に、どんな人たちが、どのような状況で、何について話すのか注意して聞くように促し、ノートを取るよう指示をして、音声を聞きます。
2. 音声を聞いた後、引き続き設問Ⅰで内容を確認します。この際、1回の聞き取りで十分に情報が取れない場合は、もう1度聞いても良いでしょう。
3. 口頭で登場人物や状況について確認し、設問Ⅰの答え合わせをしながら、話し手それぞれの主張について確認します。
4. 設問Ⅱに、話し手の意見の違いについて書いてまとめます。

・偶数課(独話)の進め方

1. 設問Ⅰに目を通し、あらかじめ聞く内容について推測します。そして、これらの点を中心にノートを取るよう指示します。
2. 音声の冒頭部分に話し手の情報や内容に関する簡単な紹介がありますので、そこで1度音声を止めて、確認します。
3. ノートを取りながら、音声を聞きます。必要であれば、1回目はただ聞くだけ、2回目はノートを取るなど、学習者の聞き取りの力に合わせて工夫すると良いでしょう。1回の聞き取りで十分に情報が取れない場合は、もう1度聞く、または段落ごとに区切りながら聞くなどしても良いでしょう。音声を聞く際には、設問Ⅱの部分を見せず、書き込みを行わないようにします。
4. ノートを見ながら、設問Ⅱの文完成を行います。答えは内容が合っていれば、聞いた文の通りでなくてもかまいません。時間があれば、聞いて理解した内容をさらに短くまとめる練習をしても良いでしょう。



読んでみましょう

練習のねらい:

まとまりのある文を読んで、読むことへの抵抗感をなくし、概要を理解すること、読むスピードを高め、要点を的確にとらえる力を養うこと、各課で学んだ新規学習項目が理解できているかどうかを自己確認し、達成感を持てるようになることを目指す練習です。

内容は、『上級』のテーマを、〈読みましょう〉とは違う側面から扱い、〈読みましょう〉

にある情報をさらに補充するものになっています。

練習の構成:

〈読んでみましょう〉本文と問題Ⅰ、Ⅱで構成されています。本文は、当該課の新規学習項目を含む既習の語彙と表現のみで書かれていて、第3課から第7課までは4段落構成で1000字前後、第9課以降は5段落構成で1200字程度としています。

問題Ⅰは内容の理解を確認するための正誤問題で、段落数に合わせ、第7課までは8問、第9課以降は10問になっています。問題Ⅱは要点についての記述問題になっており、段落数に合わせ、第7課までが4問、第9課以降は5問になっています。

練習の進め方:

1. 学習者に合わせて、5～7分程度と時間を決めて、時間に余裕がある場合も、内容がつかめるまで何度も読むよう指示します。その際、後の正誤問題は見ないことを徹底します。
2. 全員が読めた時点で、問題Ⅰを行います。その際、本文を見ずに解答するよう指示します。
3. 全員が解答を終えたら、答えをチェックしながら、要点を確認します。必要に応じて、再度本文に目を通して良いでしょう。
4. 最後に、問題Ⅱを行います。必要に応じて、口頭練習をしてから書く練習をすると良いでしょう。



練習しましょう

練習のねらい:

新規学習項目を既習項目と組み合わせ、豊富な練習を通して繰り返し使用することによって学習者が、学習項目が身に付いているかどうかを自己確認することを目指します。『上級』で既に学んだ言葉・表現、文法項目を繰り返し使って練習が作られているので、すべての練習問題を通して、『上級』学習項目の総体的な復習をすることも、大きなねらいです。

練習の構成:

大きく分けてふたつの練習から構成されています。Ⅰ. 漢字の練習、Ⅱ. 文完成練習です。Ⅰ. 漢字の練習では、各課の新出漢字の読み方と書き方を練習します。『上級』〈漢字を練習しましょう〉Aに含まれる漢字は、読み書き両方が練習対象となり、Bに含まれる漢字は読み方のみが練習対象となります。

Ⅱの文完成練習には、1. 擬音語・擬態語を中心にした副詞の練習、2. 当該課新規学

習表現の練習、3. 当該課新規学習文法項目と関連練習が含まれています。偶数課に限り、4. として、補助動詞と呼ばれる動詞の復習練習が添えられています。

練習の進め方:

〈練習しましょう〉は、基本的には自宅での使用を想定していますが、課の最後に復習として使用することも可能です。特別な進め方はありませんが、いずれの場合も留意しておくべき点は、例えば、Ⅱの2、3などは、複数の解答を作らせ、練習対象となる表現が応用できる力を付けること、また、偶数課にある4では、ほかにも該当する動詞がないかを考え、補助動詞の役割を理解させることが大切です。

CDトラック番号一覧

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 01: 第 1 課 聞きましょう (会話) | 13: 第 9 課 聞きましょう (会話) |
| 02: 第 1 課 聞きましょう (質問) | 14: 第 9 課 聞きましょう (質問) |
| 03: 第 2 課 聞きましょう | 15: 第 10 課 聞きましょう |
| 04: 第 3 課 聞きましょう (会話) | 16: 第 11 課 聞きましょう (会話) |
| 05: 第 3 課 聞きましょう (質問) | 17: 第 11 課 聞きましょう (質問) |
| 06: 第 4 課 聞きましょう | 18: 第 12 課 聞きましょう |
| 07: 第 5 課 聞きましょう (会話) | 19: 第 13 課 聞きましょう (会話) |
| 08: 第 5 課 聞きましょう (質問) | 20: 第 13 課 聞きましょう (質問) |
| 09: 第 6 課 聞きましょう | 21: 第 14 課 聞きましょう |
| 10: 第 7 課 聞きましょう (会話) | 22: 第 15 課 聞きましょう (会話) |
| 11: 第 7 課 聞きましょう (質問) | 23: 第 15 課 聞きましょう (質問) |
| 12: 第 8 課 聞きましょう | |

第1課

しる



聞きましょう

CD 01, 02

I. 会話を聞いて、質問に答えてください。

1. () 2. () 3. () 4. () 5. ()

II. 「生きている図書館」について、ふたりの立場、意見を理由も合わせて、それぞれまとめてください。

A. 女の人(さやか)の立場、意見	B. 男の人(もりむら)の立場、意見

III. 次のように言われたら、どう答えればいいでしょうか。会話でよく使う話し方で自由に考えてください。

1. ねえ、ねえ、今度こういうのやるんだけど、来ない？
2. ひとりの人間の経験を聞いたところで、それはじっさいに起こったことの一部でしかないんじゃないの？
3. さやかってつくづくいい人だよね。



練習しましょう

I. ひらがなは漢字にして、漢字は読み方を書いてください。

- 少し前から窓の外で白い物が①まっていたが、すぐに雪が激しく②ふりはじめた。
① () ② ()
- ③じゅぎょう中にわからないことがあったら、先生に質問するようにと言われた。
③ ()
- 何年も息を④ひそめるように⑤くらし、にげていた男をけいさつがつかまえた。
④ () ⑤ ()
- 近所の店が三日間だけ安くして売ったところ、洋服やズボンだけでなく⑥ほう
しまでもすべて売り⑦つくしてしまったそうだ。
⑥ () ⑦ ()
- あまり考えもせず出した考えが受け入れられたため、⑧後になって責任者の私
が無理な仕事を⑨強いられることになった。
⑧ () ⑨ ()
- せっかく新しいおもちゃを買ってやったのに、子供はすぐに⑩飽きて、次の日
から手も⑪触れなくなった。
⑩ () ⑪ ()

II. 文を作ってください。

- の中の言葉を使ってください。二度使う言葉もあります。
① 「()、これで終わりだ」と思って周りを見ると、一緒にがんばって
いたみんなも目を()させ、できた品物を見ていた。
② ()舞うさくらの花を見て、もう春も終わりだなと()思わ
せられた。
③ 日本は物が高く、()減っていくさいふの中身を見ると、お金の使
い方をちゃんとしないとこれから大変だと()思った。

きらきら(と) つくづく ひらひら(と) みるみる やれやれ

- _____に言葉を入れてください。
① 本をプレゼントされたが、漢字が多過ぎて、まるっきり_____。
② 泣きながら帰って来た子供が、_____といわず_____といわず
血まみれだったのであわてて病院へ行った。
③ 海外旅行は、まるで_____かのように楽しいものだった。

- ④ _____が後を絶たないので、けいさつは_____。
- ⑤ 時間をかけてレポートを書いたつもりだったのに、先生に_____でしかないと言われて自信をなくした。
3. 「ところ」を使った言い方を復習しましょう。
- ① 先生に_____と言ったところ、「わかった」と短い返事だけだった。
- ② _____ところに客が来て、映画はあきらめざるを得なかった。
- ③ _____たところで、誰も喜んでくれないだろう。
- ④ 日本の学生に好きなスポーツを聞いたところ、_____。
- ⑤ 日曜日は、_____どころか、ゆっくり家族で話す時間もなかった。

いたわる



聞きましょう

CD 03

I. 質問に答えられるように、ノートを取りながら、聞いてください。

1. 女の人の住む町ではどんなことが行われていますか。
2. 「大変ですね、毎朝」という女の人の言葉に道の脇に立っている人は何と答えましたか。
3. 女の人が言わずにいられないと言っているのは何についてですか。

II. ノートを見ながら、書いてください。

1. 子供たちの安全を守るお年寄り

- ◆ 子供たちが学校へ行く途中、 _____
ことが多い。
- ◆ この女の方は _____ お年寄りを
子供のころから知っている。
- ◆ ある日目が合った際に、 _____ てみると、
_____。

2. 毎朝会うお年寄りへの信頼

- ◆ あるとき、「大変ですね、毎朝」と言うと、お年寄りは「 _____
_____ 」と言った。
- ◆ そのお年寄りを見てほっとするのは、 _____
_____ からだと思った。

3. 子供たちの振る舞い

- ◆ この女の人が言わずにいられないことというのは、 _____
_____。
- ◆ 女の方は _____ てほしいと思っている。



練習しましょう

I. ひらがなは漢字にして、漢字は読み方を書いてください。

1. 約束の時間を①勘違いし、1時間以上も待たせてしまった友達に②あやまった。
① () ② ()
2. 地域の若者が、バス③ていにいすを置き、お年寄りが④すわれるようにした。
③ () ④ ()
3. 上司から送られてきた⑤しよるいには、「注意すべきこと」と書かれた紙が⑥は
さまれていた。
⑤ () ⑥ ()
4. 近所に住むおばあさんは⑦やさしい人で、遊びに行くといつもケーキを作り、
⑧遠慮しないでたくさん食べなさいねと言ってくれる。
⑦ () ⑧ ()
5. 父の⑨てちょうには家族に何かあった⑩際、すぐに連絡が取れるように全員の
電話番号が書いてある。
⑨ () ⑩ ()
6. 自転車を止めようとしたところ、大きな車が通るので、もっと⑪脇に⑫いどう
させるように言われた。
⑪ () ⑫ ()
7. 電車が駅に着くと、「⑬降りる人のために出入り口を⑭空けてください」とアナ
ウンスが流れた。
⑬ () ⑭ ()

II. 文を作ってください。

1. 中の言葉を使ってください。二度使う言葉もあります。
 - ① 日本語がじょうずにならず困っていたとき、町で()せんばいに会ったので、どうしたらいいか聞いたら、毎日()勉強するしかないと言われた。
 - ② ()した、気持ちのいい天気だったので、散歩に出かけたところ、おいしいと聞いていたレストランを()見つけ、食事して帰った。
 - ③ 先月、式を行った結婚()のふたりだったが、小さなことでけんかをし、()した関係がしばらく続いた。

ぼかぼか(と) たまたま ほやほや こつこつ(と) ぎすぎす(と)

2. _____ に言葉を入れてください。

- ① テーブルにはピザやケーキなど、いかにも _____ そうな料理が並んでいた。
- ② 父は若いとき「学生が _____ なんてもってのほかだ」と先生に厳しくしかられたそうだ。
- ③ 日本人だと思っていましたが、 _____ からして、外国の人かもしれませんね。
- ④ 知り合いが誰もいない見ず知らずの _____ で生活することが、兄は心配で仕方がなかった。
- ⑤ 公園に行くと、木の葉が赤く染まり始め、すっかり _____ めいてきたと感じた。

3. 「もの」を使った言い方を復習しましょう。

- ① 年を取ってからは、しなくなったが、若いころはよく _____ ものだ。
- ② 突然 _____ ものだから、驚いて持っていたかばんを落としてしまった。
- ③ 職人の世界では、技術は習うものではなく _____ ものだと教えられた。
- ④ 「早く一人前になって、両親を _____ ものだ」というのが兄の口癖だ。
- ⑤ 一緒に仕事をしている仲間にそんな _____ ものではないとしかられた。

4. 「込む」を使った動詞を復習しましょう。□中の言葉を使ってください。

- ① 日本の生活は、150年ぐらい前に外国の文化が() 込んできて、大きく変化した。
- ② さっきまで楽しく話していたのに、何か悪いことをしてしまったのか、友達が急に() 込んでしまった。
- ③ 声をかけようとしたが、つくえに向かって何か() 込んでいるようだったので、そっとしておいた。
- ④ この書類には、お客様の個人情報() 込まれたものもあるので、管理を厳しくしておくようにと上司に言われた。
- ⑤ 留学をして、当たり前だと() 込んでいたことも、文化が変われば違うこともあると学んだ。

入る	黙る	書く	思う	考える
----	----	----	----	-----